

モデルフォレスト運動推進のための 広葉樹林化等促進技術の確立 (農林センター 森林技術センター)

森林伐採後地の広葉樹林の自然回復及び針葉樹林の針広混交林化を阻害する要因を明らかにしました。

広葉樹林の自然回復を阻害する要因



放置された枯枝等が
稚樹の発生を阻害。
枯枝等の整理が必要



繁茂したササや草本が
稚樹の成長を阻害。
伐採除去が必要



シカが稚樹を食べて
成長を阻害。
柵の設置等が必要

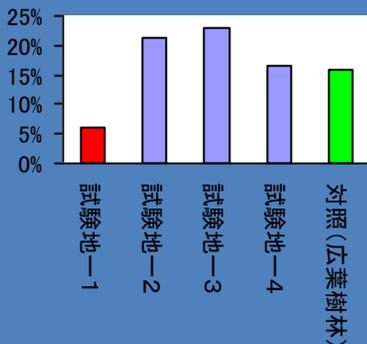


図 自然回復した樹木中の
大型の木の割合

試験地-1は大型の木が極
端に少ない。
**大型の木を植えて補うことも
必要**



普及冊子の作成

針広混交林化を阻害する要因



広葉樹を生やす空間が狭
いと照度不足で育たない。
**広葉樹を生やす空間は広
さを充分に取る必要がある**

広葉樹林の自然回復を阻害する要因として、林地に残った枯枝等の整理不足、ササや草本の繁茂、獣による食害及び大型の木の不足があることを、また、針広混交林化を阻害する要因として照度不足が確認されました。これらの要因とその解消法を組み込んだ「広葉樹林化のための普及冊子」を作成しました。

- ・ 府・モデルフォレスト協会がこの普及冊子を活用することにより、モデルフォレスト運動の一層の進展が見込まれます。
- ・ 京都府森林利用保全指針に沿った広葉樹林化が進められます。